

様式第11号 パッケージ型自動消火設備の概要表記載要領

- | | |
|-------------|--|
| ① 認定番号・設置台数 | ・登録認定機関の認定番号及び設置台数を記入する。 |
| ② 型式記号 | ・メーカー型式記号を記入する。 |
| ③ 消火薬剤貯蔵容器等 | ・該当する方式を選択し、蓄圧を選択した場合、()内に圧力を記入する。
・材質及び内容積を記入する。 |
| ④ 消火薬剤 | ・種別、型式番号及び薬剤量を記入する。 |
| ⑤ 加圧用ガス | ・加圧するガスの種類を選択し、充填量及び充填圧力を記入する。 |
| ⑥ 本体設置状況 | ・薬剤貯蔵容器等の設置階を記入する。 |
| ⑦ 接地端子 | ・接地端子の有無を記入する。 |
| ⑧ 感知部 | ・感知器の種別、型式番号、個数及び検出方法を記入する。 |
| ⑨ 音響装置 | ・種別及び連動の有無を選択する。 |
| ⑩ 手動起動方式 | ・手動起動方式があるものは記入する。 |
| ⑪ 放出導管 | ・主管の材質及び呼び径、分岐管の材質並びに最大長さを記入する。 |
| ⑫ 放出口 | ・材質及び放射量を記入する。 |
| ⑬ 補助散水栓 | ・該当するものの台数を記入する。
・屋内消火栓の場合、()内に種別を記入する。 |
| ⑭ 常用電源回路 | ・AC・DCの区別により、該当するものを選択する。
・ACを選択した場合、電圧を記入し、電源回路について該当するものを選択する。
・DCを選択した場合、容量を記入し、充電方式及び使用別について該当するものを選択する。 |
| ⑮ 非常電源回路 | ・該当する設備を記入する。
・蓄電池設備の場合、電圧及び容量を記入し、充電方式及び使用別について該当するものを選択する。 |
| ⑯ 配線 | ・該当する回路ごとの施工方法を選択する。 |
| ⑰ 階 | ・設置する階ごとの面積、主な用途、同時放射区域数、最大同時放射区域面積及び放出口数を記入し、同時放射区域数及び放出口数については、合計数を記入する。 |

パッケージ型自動消火設備の概要表

様式第11号

①認定番号・設置台数		〇〇〇〇号× △台		②型式記号	◎◎◎◎	
③消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧 (MPa)	材質	□□□	内容積	L× 本
④消火薬剤	種別	第三種浸潤剤等入り水		型式番号	品評剤第〇〇〇号	
	薬剤量	容器別数量 110L×容器本数 6本 L×容器本数 本 L×容器本数 本 L×容器本数 本 L×容器本数 本 L×容器本数 本		L×容器本数 本 L×容器本数 本 L×容器本数 本 L×容器本数 本 =総量 660 L		
⑤加圧用ガス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素			
		充填量	(1台当たり) 20L 3.3 kg×1本	充填圧力	14.7 MPa	
⑥本体設置状況		薬剤貯蔵容器等			⑦接地端子	有・無
⑧感知部	感知器の種別	差動式スポット型 (75℃)	型式番号：感第 △-△ 号× 2 種10個			
		定温式スポット型 ()	型式番号：感第 号× 種 個			
		光電式スポット型 (非蓄積)	型式番号：感第 ◎-◎ 号× 2 種10個			
	検出方式	式 型 () 型式番号：感第 号× 種 個				
		消防設備専用の熱感知器と煙感知器の2種類の検出方法				
⑨音響装置		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他 ()		連動有無	有 ()・無	
⑩手動起動方式						
⑪放出導管		主管	材質：SGP 呼び方：25A	分岐管	材質：C1220T	
		最大長さ 90 m				
⑫放出口		材質：無電解Niメッキ		放射量	14.4 L/min	
⑬補助散水栓		屋内消火栓 () × 台		I型×3 台	II型× 台	
電源	⑭常用電源回路	単相・三相 AC 100 V		電灯回路・動力回路		
	⑮非常電源回路	種別 (蓄電池設備) DC 24V 1.65 AH	充電方式：トリクル・浮動		使用別：専用・共同	
⑯配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()				
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()				
	警報回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()				
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 (耐火電線)				
⑰階	階面積	主な用途	同時放射区域数	最大同時放射区域面積	放出口数	備考
1階	451.20㎡	玄関・事務所・診察室	35 区域	15.55 m ²	115 個	
2階	455.20㎡	病室・院長室	33 区域	16.56 m ²	101 個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
階	㎡		区域	m ²	個	
合計			68 区域		216 個	
備考						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。